

父さんへ

ラジオネーム：AKKB大好きっこ

そっちでも元気にしてらるからっ？

父さんの事なら騒がしくしてらるっだね。

父さんが亡くなってから、早いもので10年以上たつんだね。

亡くなった時は、僕はまだ15歳。中学3年生の時だったっけ？

当時は、僕も反抗期真っ盛りで、何かと父さんの言う事に歯向かっていたような気がするよ。

父さんが亡くなった時は突然の出来事すぎて、ちゃんとしたお別れもできなかつた。気持ちの整理も中々できなかつた。

今思えば、もっと父さんと色々な所に行ったり、やったりして、たくさん思い出を作れたかった。

何かと後悔が多いんだけど、父さんとの思い出で印象深いことがあ
るんだ。それは「補助輪無しの自転車」に乗る練習を一緒にしてけれ
た事。

周りがらすれば、何気ないこともしねなれば、僕にとっては

父さんとの大切な思い出。

確か、6歳くらいの時だったかな？ 周りの友人がごんごんと、補助輪無しの自転車を乗りこなしている中、僕だけ補助輪付き。

それを見兼ねた父さんが練習に付き合ってくれてね。

運動神経が悪い僕だから、中々1日じゃ乗れるようになれなくて、何度も練習に付き合ってもらったよね。中には、朝から晩までやったなんて日もあったよね。

練習中、父さんは自転車の後ろをおさえながら

「俺がしっかりつかんでるから安心しろよー」「そっ言ってたよね。

そして練習して数日、やっと乗れるようになった時は本当にうれしかった。たぶん、父さんが後ろにいる安心感のおかげだよ。

もしも、将来自分に子供ができたときは

父さんと同じように、自転車の練習を子供とやりたいな。

子供が安心できるような父親になりたいよ。

まあ、彼女がいない僕に子供ができるなんていつになるかわからな
いけどな。

リクエスト曲

（ 走れ bicycle / 乃木坂46 ）